

【 6 】

氏名 曾 良 一 郎

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 甲 第 608 号

学 位 授 与 の 日 付 昭和61年 3 月 31日

学 位 授 与 の 要 件 医学研究科内科系神経精神医学専攻  
(学位規則第 5 条第 1 項該当)学 位 論 文 題 目 Dexamethasone suppression test and Noradrenergic  
Function in Affective and Schizophrenic Disorders  
(感情病、精神分裂病におけるデキサメサゾン抑制試験とノル  
アドレナリン機能)

論 文 審 査 委 員 教授 庄盛敏廉 教授 森 昭胤 教授 大田原俊輔

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

視床下部－下垂体－副腎機能とノルアドレナリン系の関係を感情病、精神分裂病の患者を対象として検討した。デキサメサゾン抑制試験 (DST)、血漿カテコールアミン値、血清クレアチンキナーゼ (CK) 活性を調べた。単極性うつ病では、DST 後のコルチゾール値が高い者ほど血漿カテコールアミン値は高く、血清 CK 活性は低かった。急性期の分裂病では血清 CK 活性が高い者ほど、DST 前および後のコルチゾール値が高かった。これらの結果は、単極性うつ病と急性期の分裂病はともに視床下部－下垂体－副腎機能異常とノルアドレナリン系異常を示すが、両疾患のノルアドレナリン異常は異なることを示している。なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は精神病の内分泌学的側面について臨床生化学的に研究したものであるが、従来十分に確立されていなかった分裂病と感情病との鑑別診断的特徴について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。